

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保存して下さい。

第2類医薬品

54

ほ えき
補 益

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1)医師の治療を受けている人。
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3)体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
(4)胃腸が弱く下痢しやすい人。
(5)だらだら出血が長びいている人。
(6)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
軟便、下痢
4. 1ヵ月位（鼻血に服用する場合には5～6回、痔出血、便秘に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

〔効能・効果〕

体力中等度以上で、のぼせ気味で顔面紅潮し、精神不安、みぞおちのつかえ、便秘傾向のあるものの次の諸症
高血圧の随伴症状（のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安）、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症[※]

〈効能・効果に関連する注意〉

注) 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。

〔用法・用量〕

朝食時，就寝時30分前に服用する。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人	5～8錠	2回

〔成分・分量〕（本品100錠中）

自社製別紙規格					
日局	オウレン末	5.0 g	日局	オウレン	7.5 g
日局	ダイオウ末	12.5 g	日局	ダイオウ	15.0 g
日局	オウゴン末	5.0 g	日局	オウゴン	7.5 g

別水性紙工規格ス
2.5g

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1)小児の手のとどかない所に保管すること。
- (2)直射日光をさけ，なるべく湿気の少ない，涼しい所に密栓して保管すること。
- (3)誤用をさけ，品質を保持するために，他の容器に入れかえないこと。
- (4)保存の状況が悪いと，場合によっては虫，カビ等がつくことが考えられますので，上記の注意を必ず守って下さい。

本剤は，原料として天然の生薬を用いていますので，製品により多少色が異なったり，開栓後，吸湿により錠剤の色が濃くなる場合がありますが，効果には変わりありません。

〔お問い合わせ先〕

一元製薬株式会社「お客様相談室」

〒171-0043 東京都豊島区要町3-4-10

電話：03-3957-2997

○受付時間：9:00～17:00（土，日，祝祭日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先

（独）医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話 0120-149-931



一元製薬株式会社

東京都豊島区要町3-4-10